

クローバー

発行
平成15年2月1日
編集
北村山公立病院
住所 東根市温泉町2-15-1
TEL 42-2111

「理念・基本方針・患者の権利と責任」の制定

くふれあいのある確かな医療をめざして

院長 滝 沢 隆 雄



「年上の患者に接する時は自分の父母の顔を思い浮かべなさい。同年代なら兄弟、子供なら我が子と思ひ診療にあたりなさい。」医師になって、初めに先輩医師に言われた言葉です。親切に、言葉は優しく丁寧に接しなさいということでしょう。三十余年を経た今も自分への戒めとしています。

当地に赴任して一年になろうとしています。ここ北村山には「医師は偉い人。黙って従うべき。」そんな風潮が残っているのでしょうか。年輩のご婦人に多いのですが、私を前にひどくかきこまる方がおられます。「お母さん。そんなに固くならないで。」そんな思いから、私はついついダジャレをとばしてしまうのです。無理して笑ってくれる方もいるようですが。

律儀な患者様が多いのは医療従事者としてありがたいことです。でも、これにあまえてはいけません。患者様の合意・協力により進める診療は、今日では常識なのです。

昨年四月の診療報酬改定は本邦初のマイナス改定となりました。当然、病院経営は厳しさを増しています。しかし、このような時こそ原点に立ち帰り、何事かを成すチャンスでもあるのです。

これらのことから、この度、当院の『理念・基本方針・患者の権利と責任』を定めました。いずれも目新しくはありません。当然のことばかりです。でも、常に心に留め、行動するのは容易ではないのです。これを機に、病院の職員諸君が皆、また新たな思いで、より信頼される病院づくりにあたるものと信じます。

北村山公立病院の理念

○理念

地域の信頼にこたえるため、患者様中心のよりよい医療の提供に努めます。

○基本方針

一 患者様中心の医療

人間性を尊重し、信頼関係を基本とした満足度の高い医療をめざします。

二 医療の質の向上

地域の基幹病院として、地域の医療機関と連携を図り、医療の安全性と医療水準の向上に積極的に取り組みます。

三 経営参加への意欲

職員は業務に意欲的に取り組み、病院機能の一層の充実と健全な経営の確保に努めます。

○患者の権利と責任

一 患者様には、最善で平等の医療を受ける権利があります。

二 患者様には、自分の病気について説明を受ける権利があります。

三 患者様には、検査や治療などについて選択、同意、拒否する権利があります。

四 患者様には、必要な情報を得る権利があります。

五 患者様には、プライバシーが守られる権利があります。

六 患者様には、医療に参加し、医療に従事する者と協力する責任があります。

診察室 2

恒久的ペースメーカーの 植え込みについて

内科 金村 應文 (診療部長)



「先生ようペース
メーカーの機械まだ
大丈夫だか。」

「大丈夫だあー、う
んまく動いている、上等だあー。」
「たっぷり微笑んで、「うんだかー、ま
だいきるなあ先生。」」

年二回ペースメーカー機械の
チェック時に患者さんと私が交わす
会話の一部である。患者さんはペー
スメーカー機械の電池がまだ十分
残っていることがわかると安心した
ためか笑顔で帰宅される。

ペースメーカーの植え込みは昭和
三十八年に国内で初めて開始された。
その数は年々増えて現在では年間約
二十万人以上の患者さんに手術が施行
されている。主にめまいや失神発作、
息切れなどの症状を訴えて直接受診
される方や開業の先生方から徐脈性
不整脈（脈が遅いこと）で紹介を受
ける。

ペースメーカー植え込みの適応は
通常の心電図や二十四時間心電図で
判断するがさらに詳細な電気生理学
的検査（心臓内にカテーテルを三、
四本挿入して心臓内の電気の流れを
測定する。）により植え込みの適応を
決めることもある。

手術は局部麻酔で行なうため体に
対する負担は少なく、超高齢者でも
手術は可能である。（手術時間は約
一〜二時間程度である。）手術は、前
胸部（右か左どちらか一方）に局部
麻酔をして皮膚の下に電池の入る袋
（ポケット）を作成する。その後鎖
骨の下から静脈に管（リード線）を
挿入しその先端を徐々に進めて心臓
内（右心室）に留置する。時に高齢
者は血管の蛇行や閉塞があり挿入困
難なことがあるため、当院では術前
に血管造影検査をして血管の走行状
態を確認することになっている。術後
は血液の流れが良くなって頭がすつ
きりした。手足が暖かくなった。と
喜ぶ患者さんがほとんどである。

二年前、九十歳の末期胃癌男性患
者さんに植え込み手術を行なった。
昨年家族が来院して私に語る。先生、
じいちゃんが先月むごうさ行った。
でもペースメーカーのおかげで一年
間元気に生かしてもらった。ありが
とうさま。手術前不安そうだった患
者さんの顔。手術が終わって安堵し
たためか、やさしく微笑んでいた。
正なじいちゃんの顔を思い出した。

最近こんなことを愚考する。仏教
のお教え、定命（生まれもって定め
られた命）。誰にでも定められた命
があるなら、迎えが来るまで、くよ
くよせず、明るく、楽しく、元気に、
そして子供に迷惑をかけないで生き
られることが人々の望みではないだ
ろうかと。私はペースメーカーの植
え込み手術が患者さんやその家族の
一助になればと願う。

おしらせ

平成十四年十月十五日より、当院
では一患者一カルテ方式にて診療を
行っています。これは、受診される
患者様の立場、特に安全性・利便性
を重視した方式として、多くの病院
で採用されています。

従来、各診療科ごと別々だったカ
ルテを、患者様一人につき一冊にす
ることにより、患者様の病歴や各診
療科の診療内容を、より効率的かつ
正確に把握することができるよう
になりました。主に以下の点について
の効果が大きいと考えられます。

①検査の重複を防ぐことができる。

②薬の重複、過剰投与を防ぐことが
できる。

③診療科の枠を超えた協力体制・診
療情報の共有を円滑に行うことが
できる。

等の点です。特に複数の診療科を受
診されている患者様にとっては、よ
りよい医療サービスの提供ができる
方式であるといえます。

複数の診療科を受診される場合は、
受付した順番の診療科にカルテが運
ばれますので、患者様には受診する
順番に受付していただくことになり
ます。

わからないことがありましたら、
近くの職員にお気軽におたずね下さ
い。



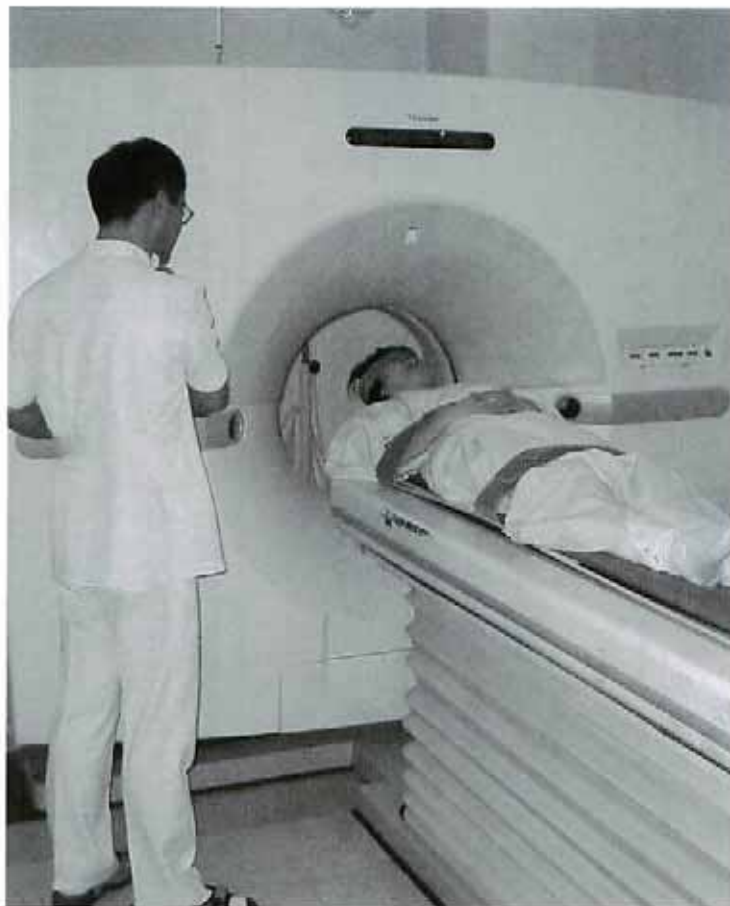
知ってるかな?

X線CTの (コンピュータ断層撮影) おはなし

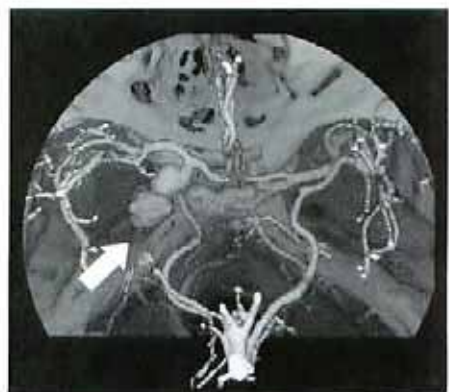
X線は今から一〇〇年前、レントゲンにより発見されました。以来、様々な分野で応用され現在に至っています。X線CTとは、ガントリーという写真にあるような丸い筒に体を入れ、機械を回転させながら、X線を体にあて、通りぬけたX線をコンピュータで画像化するものです。あらゆる部位の病気の診断に利用さ

れています。体の中の仕組みが細かく輪切りの状態で見えるように映し出すことができます。

最近ではヘリカルCT（らせんCT）や高分解能CTと呼ばれる、CTをさらに改良した機器が開発され、医療の現場で活躍しています。高分解能CTは観察する場所を決め、拡大して表示できます。詳しく表示す



写真Ⅰ 代表的な高血圧性脳内出血
(白い部分)



写真Ⅱ 脳の動脈瘤 (矢印)

る能力が通常のCTの約三倍あり、微小ガンの診断に威力を発揮します。ヘリカルCTは前後に移動する撮影台の周りを、X線を出す管球が連続回転して撮影するものです。切れ目のないデータが得られ、病巣部や血管の立体的な画像も表示できます。撮影時間が短いためX線を受ける量が少なくてすみます。また、病巣の写りをよくするための造影剤の使用量も少なくてすみます。

当院ではヘリカルCT一台、シングルスライスCT一台の計二台で一日約四〇人を撮影しています。検査で見つかる病気としては、内出血を起こす病気（脳出血、クモ膜下出血など・写真Ⅰ）、血管のつまる病気（心筋梗塞、脳梗塞）、血管の変形（動脈瘤など・写真Ⅱ）、あらゆる部位のガンや良性の腫瘍を写し出せる

だけではなく、悪いところの位置、大きさが正確に分かります。

検査を受ける際に、妊娠している方は必ず事前に申し出てください。また、造影剤を使用する際には事前に問診表を書いていただき、安全な検査に努めています。

今回はX線CTについてお話ししましたが、当院ではMRI（核磁気共鳴映像法）診断装置、やRI（ラジオアイソトープ）診断装置なども線動していますので機会があればご紹介したいと思います。

（中央放射線室 石山 茂）

はじめまして

新任医師紹介

十月以降に赴任した
当院医師を紹介します。

- ①着任日 ②趣味等
③抱負・自由発言



内科

吉川 雅智

①10月1日

②ドライブ

③山形は美味しいものばかりですね。



外科

高橋 由至

①1月1日

②特になし

③微力ながら地域医療に貢献できる
よう頑張ります。



耳鼻いんこう科

粉川 隆行

①12月1日

②ワイン、卓球

③わかりにくい耳鼻咽喉科領域の疾患を患者様全員が理解し、安心して診療が受けられる事を目標としています。



皮膚科

秋田 政彦

①1月1日

②音楽鑑賞

③山形に赴任したばかりですが、地域医療の為に頑張ります。



消化器科

沖野 哲也

①1月1日

②テニス、イタリア語

③1月より赴任しました。よろしく
お願いします。



泌尿器科

根本 旬

①1月1日

②スポーツ観戦

③宜しくお願いいたします。

いきいき職場紹介②

機能回復訓練室



やことばの練習を行った
り、食べ物が入ってしま
ったり、うまく飲み込
めない方のための飲み込
みの練習などを行って
います。この他にも例えば、
右手が動かなくなったら、
左手をどのように手伝わ
ていくか、今の家で生活
しづらくなれば、家の改
造をどのようにすればよ
いのかといった、病気の
治療以外の非常に広い範
囲での手助けや工夫につ
いての指導も行っていま

病院の一番東側の奥に、機能回復
訓練室があります。ここでは、十四
名のスタッフが勤務しています。

機能回復訓練では、骨折や脳卒
中・寝たきりなど様々な病気によっ
て不自由になったからの機能回復

だけではなく、様々な面から支援を
行っています。不自由になったから

だを使いながら、日常のいろいろな
動作（寝返りや起き上がり・歩行な

ど）ができるようにしていったり、
食事や入浴・書字などの日常生活の

応用的な動作を行ったりしています。
また、ことばがなかなか出てこず、

うまくコミュニケーションがとれな
い方のために、家族とコミュニケー

ションをとりやすくするための指導

す。

機能回復訓練は、不自由なからた
であつても、いかに有意義な、充実
した人生を送るかといった、生活の
質の向上を支援しています。

機能回復訓練室

言語聴覚士 柴田 朋子



ナース室より

こんばんは



西五階 平澤 律子

入院の患者様においても高齢化はすすんでおり、七十才、八十才はあたりまえ。看護師にしてみれば日常の事です。高齢の患者様にとって入院は、それは一大事です。

高齢者の生活習慣は、長年にわたって形成されてきたものであるだけに、一朝一夕に変化させられるものではありません。病院に入院することは、生活環境が一変するわけです。これまでの生活が長い分、生活のすべてをかえるのは容易なことではありません。環境の不適応、様々なストレス（例えば点滴、検査、食事制限）から、精神症状（いわゆるボケ症状）が出る場合があります。そういったことに出来るだけならないよう、私達看護師は、わかりやすい説明をしたり、あせらずゆっくりと接するように心がけています。また、御家族のきずなが、より良い治療となることがありますので、面会時間内には、どうぞ御面会に来て下さい。

診察室 3

手術で治せる

痴呆症のお話

脳神経外科 國本 健太



六十五歳以上の高齢者の割合が増えてきて、総人口の二割近くを占めようとしています。現代の六十歳、七十歳はまだまだ働いて人生を楽しめる世代です。しかし長生きすれば物覚えや判断力などの脳の働きは少しずつ落ちてきます。物忘れというのは、新しくものを覚える力が鈍くなること。でも記憶の方はまだ保たれているので、昔のことは良く覚えています。高齢者が昔のことを話したがるのはこのためです。さて自分ではあるのこのためです。さて自分ではあるのこのためです。

物忘れを気にしているうちは痴呆ではありません。物忘れも気にならないくなり、他人に注意されても無頓着になってしまおうと要注意です。痴呆を起す代表的な病気には、脳の血管が詰まって起こる痴呆症とアルツハイマー型痴呆症がありますが、特效薬もなく、もちろん手術では治せません。しかし中には手術で良くなる痴呆症があります。それは慢性硬膜下血腫、水頭症、髄膜腫などです。ではこれらがどのような病気なのか、それぞれの特徴についてご説

明しましょう。

慢性硬膜下血腫は頭をぶつけておこる病気で、圧倒的に男性に多く、それも酒飲みの高齢者に多い。頭を打った直後には何ともありませんが約一月後、つまり忘れた頃に病気がやってきます。ぶつける程度は軽いものが多く、覚えていない程度のぶつけ方がほとんど。時間をかけてじわじわと脳の表面に出血してきます。頭痛を感じたり、手足が効かなくなってきたら誰でもおかしいと気づきますね。でも高齢者の場合、記憶力や判断力が鈍くなるので本人は気がつきません。「最近うちのおじいちゃんがおかしい」と周りの人が感じたら放っておかないで外来へ。診断はCTで一発です。手術は、じつとしていてくれれば、局所麻酔で一分で済みます。

髄膜炎の後などでおこってきます。子供が水頭症になると頭でつかちならず、大人では、頭でつかちとはならず、ボケ、歩けない、おもらしなどの症状がでてきます。これもCTで診断がつき、水を除く手術をするとうまくいきます。

脳と脊髄は水に浮いています。ちょうど豆腐が水の中に浮かんでいるように、脳も水につかって浮かんでいるのです。こうすることによって、柔らかくて壊れやすい脳が守られているのです。空気にさらしたお豆腐より、水の中に浮いているお豆腐の方が形が壊れにくいですよ。しかしこの水も多すぎると問題です。水頭症は、このように脳を包んでいる水の流れがせき止められ、脳室という脳の中にある部屋にその水がたまってしまおう病気で、原因は腫瘍や、出血、脳の手術後、外傷

三つめは、前頭葉（頭の前方）にできた大きな脳腫瘍です。良性の髄膜腫という病気が多いのですが、大きくなると痴呆症状を起こしてきます。この腫瘍はゆっくり成長するので、初めのうちは症状がでにくいように、ハッキリしないことが多いのです。意識はしっかりしているものの、何となくボンヤリしているとか、時々頭痛も感じていて、吐いたりするとスッキリする。また周りから見ても、今までは違う性格になってきたなどです。性格変化がハッキリしてきたとなればやはり、脳腫瘍をまず疑います。これもCTやMRIで診断でき、手術で摘出すれば症状は改善されます。

このように痴呆症状を示す病気の中には、外科的手術が有効な病気も隠されています。まず症状をよく診察することが第一ですが、CTやMRIといった画像診断が重要です。当院のCT、MRIは別の記事で紹介してありますように、大変優れた機種が採用され、鮮明な画像が得られます。いつでもお気軽に脳神経外科外来へご相談ください。

外来診療科医師日程表

◆内 科

月	火	水	木	金
金村應文	福島正人	金村應文	吉川雅智	佐伯和則
上野 亮	吉川雅智	佐伯和則	福島正人	上野 亮
吉川雅智	佐伯和則	上野 亮	金村應文	福島正人

* 下段は新患外来の担当医師

◆神経内科

月	火	水	木	金
新井裕至	新井裕至	新井裕至	新井裕至	新井裕至
小島・町田	町田佳恵	小島康正	町田佳恵	小島康正

◆消化器科

月	火	水	木	金
福岡 猛	沖野哲也	福岡 猛	沖野哲也	滝沢隆雄
				高橋 光

◆小児科

月	火	水	木	金
鹿子島俊夫	鹿子島俊夫	鹿子島俊夫	鹿子島俊夫	鹿子島俊夫

◆外 科

月	火	水	木	金
小川芳雄	木内博之	小川芳雄	木内博之	小川芳雄
高橋由至	山本一仁	山本一仁	高橋由至	高橋由至
杉浦 篤	杉浦 篤	山村 進	杉浦 篤	山村 進

◆整形外科

月	火	水	木	金
武田知通	服部幹彦	武田知通	服部幹彦	武田知通
村重良一	村重良一	服部幹彦	村重良一	村重良一

◆形成外科

月	火	水	木	金
岡 敏行	岡 敏行	岡 敏行	岡 敏行	岡 敏行

◆皮膚科

月	火	水	木	金
秋田政彦	秋田政彦	秋田政彦	秋田政彦	秋田政彦

* 外来の受付時間は午前8時30分～午前11時30分まで、診察は9時開始です。土・日・祝日・年末年始は休診です。ただし、急患は随時受付・診察を行います。
* 都合により、担当医師の変更や休診になる場合があります。

編集後記

クローバー第2号をお届けしました。医療が高度化するなかで様々な問題が表面化して社会の関心が高まる中、各医療機関ともその対応に迫られています。当院でもより良い医療を提唱すべく、各部署で検討を行っています。その中で今回あらためて当院の病院理念を掲げ、この基本方針をもとに皆様に満足いただける病院を目指すこととなりましたのでご理解を御願いたします。

さて本広報誌は当面年3回の発行予定ですが、紙面の充実を図りながら発行回数を増やしていければと考えています。今後の紙面づくりに反映させていただきたく、病院受

◆脳神経外科

月	火	水	木	金
鎌塚栄一郎	知識鉄郎	國本健太	鎌塚栄一郎	國本健太
		午後 國本健太		

* 水曜日は午後2時30分～4時 頭痛・顔面痙攣外来（予約制）

◆泌尿器科

月	火	水	木	金
清水宏之	清水宏之	根本 勺	清水宏之	根本 勺

◆産婦人科

月	火	水	木	金
大塚 茂	藤井俊彦	大塚 茂	大塚 茂	藤井俊彦
藤井俊彦	大塚 茂	藤井俊彦	藤井俊彦	大塚 茂

* 上段が産科、下段が婦人科担当医師

◆眼 科

月	火	水	木	金
鈴木輝彦	鈴木輝彦	鈴木輝彦	鈴木輝彦	鈴木輝彦

◆耳鼻いんこう科

月	火	水	木	金
粉川隆行	粉川隆行	粉川隆行	粉川隆行	粉川隆行
稲井俊太	稲井俊太	稲井俊太	稲井俊太	稲井俊太
				午後 粉川・稲井

* 金曜日のみ午後外来診察（午後2時30分～3時30分受付）

◆リハビリテーション科

月	火	水	木	金
江川慶長	江川慶長	江川慶長	江川慶長	江川慶長

◆麻 酔 科

月	火	水	木	金
篁 武郎	篁 武郎	篁 武郎	篁 武郎	篁 武郎
四維東州	四維東州	四維東州	四維東州	四維東州

◆放射線科

月	火	水	木	金
安藤 順	安藤 順	安藤 順	安藤 順	安藤 順

付や各病棟などに設置してあります御意見箱に皆様の御意見、御感想などをお寄せ下さい。（宏之）

◆救急外来の診療体制◆

急な病気やけがの患者様にそなえ、当院では夜間や休日にも当直医師1名、看護師3名が常時診療にあたっています。当直医師が診察して、より専門性が高いと判断した場合は、待機している各科の医師に連絡し、患者様を診察します。